

新・帝国主義の時代なのか？

米中露EUと私たちの暮らしのゆくえ

フリージャーナリスト

お話：齋藤 貴男 さん



1958年東京都生まれ。早稲田大学商学部卒、英国バーミンガム大学大学院修了（国際学 MA）。日本工業新聞記者、週刊文集記者などを経て独立。主な著書は『機会不平等』『ルポ改憲潮流』『消費税のカラクリ』『民意のつくられかた』『戦争のできる国 安倍政権の正体』『「マイナンバー」が日本を壊す』『戦争経済大国』など多数。2021年、初めての児童書『いちばん大切なもの』を発表。

つい最近まで見聞きすることのなかった「経済安保」が、法律として成立しようとしています。経済と安全保障がどのように結びつくのか、その概念や目的も十分に理解されないまま国会での審議が進んでいます。

自国ファーストの利益争奪戦が国際社会で繰り広げられる中、経済がナショナリズムの論理に飲み込まれてしまうのではないか。大学や企業の研究開発が軍事に動員されるのではないか。経済が“軍拡”競争を軸にした新たな時代に入っているのではないか。そして私たちの暮らしはどんな影響を受けるのか。疑問はつきません。

経済安保が声高に叫ばれるなかで、その仕組みと政治的な背景を探ります。

日時：2022年5月14日(土) 14:00~16:30

場所：金沢歌劇座 2階大集会室（金沢市下本多町）

参加費：500円

*参加者はマスクを着用し、受付で検温をお願いします。

(主催) 戦争をさせない石川の会 <http://nomorewar-ishikawa.com/>

(連絡先) 金沢合同法律事務所気付 電話 076-221-4111 FAX 076-221-4994